

新熱帯牧草ブリザンタの周年短草利用による低コスト子牛生産技術の開発

周年短草利用とは

熱帯牧草は高温下で旺盛な生育を示すが、
生育に伴い草質急激に悪化

↓
低い草丈、短期刈取→栄養収量増大



熱帯牧草の周年短草利用

課題は

多頭化に対応できる高収量・高品質牧草の
導入→新熱帯牧草ブリザンタの導入



↓
嗜好性良好で
既存牧草より
多収の可能性

研究内容

ブリザンタの生育特性 の解明

乾物生産製
刈取り間隔
施肥法
(国頭マージ、島尻マージ)

ブリザンタの栄養特性 の解明

刈取り高さ
成分組成
採食性
消化性

ブリザンタの放牧特性 の解明

放牧密度
放牧間隔
草地の永続性
子牛生産性

ブリザンタの省力的 草地造成法の開発

栄養茎の植付け密度
栄養茎の定着性
種子稔性

実際規模での実証

達成目標

乾物収量4t/10a, 粗蛋白質含量10%以上
牧養力 肉用繁殖牛8頭/ha

期待される波及効果

粗飼料自給率100%の安全、安心な低コスト・省力的
肉用牛子牛生産技術として沖縄地域に普及